













地域経済動向調査 ～平成29年10-12月期～

(注)D Iは、「良い・上昇・増加等」と答えた企業の割合から「悪い・下降・減少等」と答えた企業の割合を引いた値。プラスだと景気の上向き傾向、マイナスだと景気の下向き傾向を示す。

D I 30以上…☀️ 10以上30未満…☁️ ▲10以上10未満…☁️ ▲30以上▲10未満…☁️ ▲30未満…☔️

地域の業況 ～今期の業況

※和歌山・全国のデータは和歌山県商工会連合会「全国景況調査表」を参照

































	製造業	建設業	小売業	サービス業
地域	▲ 22.2 	▲ 25.0 	▲ 64.3 	▲ 42.9 
和歌山県	3.4 	▲ 3.9 	▲ 35.0 	▲ 11.1 
全国	▲ 8.0 	▲ 5.8 	▲ 40.0 	▲ 23.3 

和歌山県全体では、製造業・建設業・小売業・サービス業のいずれにおいても、全国より業況が良かった。和歌山県の製造業D Iは、唯一プラスとなっている。

しかし、地域のD Iは全国や和歌山県よりマイナス幅が大きく、業況は悪化している。特に小売業の業況が悪い。

業種別の特徴 ～前年同月と比べた状況

前年同月と比べた状況を見ると、今期においてはいずれの業種も悪化傾向が見られる。特に、製造業・小売業・サービス業の「売上額」が大幅に悪化し、D Iが▲60以下であった。来期の見通しは、今期よりやや持ち直すものの、建設業の「資金繰り」を除きすべてマイナスである。

	製造業		建設業		小売業		サービス業	
売上額	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 
常採利益(経)	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 
繰り資金	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 
(自社)業況	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 	今期の状況 	来期の見通し 

経営上の問題点

経営上の問題点として主に、製造業は「需要の停滞」「製品ニーズの変化」「取引条件の悪化」、建設業は「官公需用の停滞」、小売業は「購買力の他地域への流出」、サービス業は「需要の停滞」が挙げられた。今回はじめて「取引条件の悪化」が上位に挙げられた。

	製造業	建設業	小売業	サービス業
1位に挙げた問題点のトップ	製品ニーズの変化 需要の停滞 取引条件の悪化	官公需用の停滞	購買力の他地域への流出 需要の停滞	需要の停滞
1～3位に挙げた問題点合計のトップ	製品ニーズの変化 需要の停滞	官公需用の停滞	購買力の他地域への流出	利用者ニーズの変化

《トピックス》観光客の動向

■和歌山県に何をしに来ていくら使う？ —2016年旅行・観光消費動向調査(観光庁)より

和歌山県に来た旅行客のうち、宿泊は49%、日帰りは51%です。もっと多いのは、「観光・レクリエーション」に来た宿泊客です。観光に来て宿泊する人は約5万3千円使いますが、「帰省・知人訪問等」で宿泊する人は、約2万9千円しか使いません。これは、近畿平均の約4万1千円に比べて大幅に低い金額です。また、「出張・業務」で日帰りする人が使う金額は6千円で、近畿平均の1万5千円の半分以下です。全体的に和歌山県での旅行消費額は、近畿や全国に比べて低い傾向にあります。

		宿泊旅行				日帰り旅行			
		観光・レクリエーション	帰省・知人訪問等	出張・業務		観光・レクリエーション	帰省・知人訪問等	出張・業務	
和歌山県	旅行者数(千人)	3,967	2,970	683	314	4,081	2,625	761	696
	構成比	49.3%	36.9%	8.5%	3.9%	50.7%	32.6%	9.5%	8.6%
	消費額(百万円)	192,153	156,969	19,711	15,474	51,115	36,427	10,597	4,091
	構成比	79.0%	64.5%	8.1%	6.4%	21.0%	15.0%	4.4%	1.7%
	一人あたり消費額(千円)	48.4	52.9	28.9	49.3	12.5	13.9	13.9	5.9
近畿	旅行者数(千人)	45,233	25,366	11,404	8,463	54,782	37,393	8,819	8,569
	構成比	45.2%	25.4%	11.4%	8.5%	54.8%	37.4%	8.8%	8.6%
	消費額(百万円)	2,258,987	1,407,268	470,078	381,642	885,370	604,769	149,745	130,855
	構成比	71.8%	44.8%	14.9%	12.1%	28.2%	19.2%	4.8%	4.2%
	一人あたり消費額(千円)	49.9	55.5	41.2	45.1	16.2	16.2	17.0	15.3
全国	旅行者数(千人)	325,658	176,670	93,222	55,766	315,422	208,799	51,131	55,491
	構成比	50.8%	27.6%	14.5%	8.7%	49.2%	32.6%	8.0%	8.7%
	消費額(百万円)	16,033,478	9,636,425	3,486,166	2,910,887	4,921,172	3,250,780	868,197	802,195
	構成比	76.5%	46.0%	16.6%	13.9%	23.5%	15.5%	4.1%	3.8%
	一人あたり消費額(千円)	49.2	54.5	37.4	52.2	15.6	15.6	17.0	14.5

■東牟婁観光客の月別動向

—観光動態調査平成28年(和歌山県)より

東牟婁地域(那智勝浦町、太地町、古座川町、北山村、串本町の合計)の観光客数を月別に見てみると、ピークは8月、次いで1月、3月です。最も少ないのは6月です。

月ごとの観光客数の増減を和歌山県全体と比べてみると、流れはおおむね一致しています。

ただし、10月・11月を見てみると、和歌山県全体では前後の月より増えているのに対し、東牟婁ではあまり増えていません。

東牟婁の観光客は「自然・風景鑑賞」と「寺社参詣」に来る人が多いとわかっており、このことから考えると、秋の行楽シーズンにもう少し観光客を伸ばすことが可能かもしれません。

